

令和 7 年度事業実績について

社会福祉法人 内潟療護園

目次

①	障がい者支援支援施設 内潟療護園	P1
②	障がい者支援支援施設 第二うちがた	P9
③	しあわせセンターうるしかわ	P14
④	ケアホームうるしかわ	P16
⑤	ひだまり工房（多機能型施設）	P17
⑥	内潟療護園 相談センター	P22
⑦	内潟療護園 デイサービスセンター	P23
⑧	内潟療護園 ホームヘルプセンター	P25
⑨	うちがた工房（多機能型施設）	P26
⑩	地域密着型特別養護老人ホーム きりん館	P27
⑪	障がい者福祉ホーム きりん館	P28
⑫	中泊町地域包括支援センター	P31

内湯療護園 福祉課

生活支援

1 実施状況

- ① 施設入所者の健康管理に努めた結果、一部の方に誤嚥性肺炎や尿路感染症等による入退院が見られましたが、施設入所の稼働率は目標である 100%を達成することができました。また、短期入所の稼働率は 95%と目標達成には至らなかったものの、昨年度の 83.4%を上回る実績となりました。今後も継続して安定した運営に努めていきます。
- ② 毎月 1 回、各委員会が講師を務める職場内研修を実施するとともに、年 2 回以上「身体拘束」および「虐待防止」に関する勉強会を開催しました。また、職員のキャリアに応じた職場外研修（オンライン研修）への参加を推進するとともに、外部講師を招いた「カスタマーハラスメント研修」「身体拘束に関する研修会」「介護施設の BCP を考える研修会」等を実施し、職員の専門性向上とスキルアップに努めました。
- ③ 地域移行等意向確認担当者を選任し、利用者の地域生活への移行に関する意向確認を定期的実施するとともに、特定相談支援事業者等と連携しながら地域移行支援に努めました。また、地域住民及び関係機関との連携・交流を推進するとともに、地域連携推進会議を開催し、事業運営状況の報告や助言を受ける機会を設けました。さらに、施設見学を実施し、会議内容を記録・公表を行いました。
- ④ 年 2 回の避難訓練（夜間火災想定）を実施し、地元消防団や地域住民の参加を得ながら、災害時における相互協力体制の強化を図りました。また、災害福祉支援体制構築助成事業を活用し、BCP（事業継続計画）の整備や災害訓練研修会、災害時食糧対策（保存食整備）、炊き出し訓練を実施することで、地域における防災意識の向上と災害対応力の強化に努めました。さらに、職員の防災意識向上を目的として、週替わりで豆知識やクイズ形式のポップを掲示し、啓発活動を行いました。

2 利用状況

① 施設入所支援・生活介護の利用、入院、外泊の延べ日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	前年比
入所支援	880	954	910	960	927	896	947	909	922	924	855	960	11,044	920.3	▲158
入院日数	20	7	19	0	31	7	13	20	37	34	13	0	201	16.8	105
外泊日数	1	0	1	1	3	0	1	1	2	3	0	1	14	1.1	2
稼働率	97.8	102.6	101.1	103.2	99.7	99.6	101.8	101.0	99.1	99.4	101.8	103	8,158	100.9	▲1.4
生活介護	643	710	668	707	688	660	705	668	691	693	614	711		679.8	▲57
稼働率	97.4	102.9	101.2	102.5	99.7	100	102.2	101.2	100.1	100.4	102.3	103	120	101.1	▲0.7
在宅利用	14	11	10	15	10	13	15	12	3	7	4	6		10	▲38

※ 在宅利用：在宅からの生活介護利用者

② 年 齢

年齢 性別	18～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～79	80～	合計	平均
男	0	0	5	4	6	5	2	1	23	58.7
女	0	0	1	2	1	0	3	1	8	65.4
合計	0	0	6	6	7	5	5	2	31	60.4

③ 障害者手帳障害等級

年齢 性別	1 級	2 級	精神障害者 保健福祉手帳	愛護手帳 A	合計
男性	19	3	1	0	23
女性	5	2	0	1	8
合計	24	5	1	1	31

④ 市町村別利用者数

	青森市	弘前市	五所川原市	黒石市	つがる市	平川市	中泊町	鶴田町	深浦町	鰺ヶ沢町	今別町	蓬田村	合 計
男性	2	1	5	1	5	0	4	1	0	2	0	2	23
女性	1	0	1	0	0	1	2	0	2	0	1	0	8
合計	3	1	6	1	5	1	6	1	2	2	1	2	31

⑤ 退所区分状況

理由 年度	在 宅		他施設等に転所		長期入院		死 亡		合 計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
R4 年度	0	0	0	0	0	0	3	2	5
R5 年度	0	0	0	1	0	0	1	1	3
R6 年度	0	0	0	0	0	0	1	1	2
R7 年度	0	0	0	0	0	0	1	0	1
合計	0	0	0	1	0	0	6	4	11

⑥ 在所期間の状況

期間 性別	1 年未満	1 年以上 3 年未満	3 年以上 5 年未満	5 年以上 10 年未満	10 年以上 15 年未満	15 年以上	合 計
男性	2	1	4	5	2	9	23
女性	1	0	1	1	1	4	8
合計	3	1	5	6	3	13	31

⑦ 障害支援区分

区分 性別	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	合 計
男性	0	0	0	0	4	19	23
女性	0	0	0	0	1	7	8
合計	0	0	0	0	5	26	31

平均障害支援区分 5.84

ショートステイ

1 実施状況

障害者総合支援法による障害者短期入所事業及び介護保険法による基準該当短期入所（中泊町）を定員 8 床で実施しました。今年度の延べ利用者数は 2,720 人となり、前年比 308 人増となった。年間を通して短期入所 8 床がほぼ満床の状態で推移し、安定した利用実績を確保することができました。

2 利用状況（延べ日数）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障がい者	220	195	210	244	244	240	215	240	231	242	224	215	2,720
高齢者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	220	195	210	244	244	240	215	240	231	242	224	215	2,720
稼働率%	91.7	81.3	87.5	101.7	101.7	100	89.6	100	96.3	100.8	100	89.6	95

日中一時支援

1 実施状況

障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業の中の一つのサービスで、日中障害福祉サービス事業所、障害者支援施設において、障害者等に活動の場を提供し、見守り、社会に適応するための日常的な訓練等を目的とするものであるが利用はありませんでした。

2 利用状況

利用実績なし

医務

1 実施状況

- ① 内科嘱託医による定期健診の実施（1回/年 採血検査含）
※9月より嘱託医（外科医）に変更となり、定期健診（採血検査含む…1回実施）
- ② 結核検診の実施
- ③ 感染予防対策の実施・マニュアルの再確認
- ④ 職員の健康管理への助言

2 評価

- ① 9月より年度途中での嘱託医が内科医より外科医へ変更となった。そのため、外科的治療の場合は往診での診療可能となったが、内科的治療については主治医の変更や病院受診での定期受診へ変更となった。
- ② 令和7年度、入所利用者入院は6名、入院延べ日数201日。前年度より105日増加している。入院となる原因は肺炎（誤嚥性肺炎含む）が多く、尿路感染および尿路感染からの敗血症などがある。症状が出現して早めに受診するも重篤な状態で入院する場合も多かった。入院日数の平均は約21日と長期的に入院する方もいた。今後速やかな治療ができるよう更なる早期発見・早期受診に努め、長期入院の予防に努めたい。
- ③ 高齢化と障がいの重複により病気に対する抵抗力が低下してきている利用者が増えている。病気を発症・再発をすると急速に重症化しやすい傾向にある。そのため、特有の症状だけでの判断ではなく、全身の状態を観察しながら対応していく。肺炎予防にも重点的に取り組んでいきたい。食事・水分の摂取が経口では困難になってきている利用者の方も増えている。その都度、関連部署の職員と連携しながら対応していく。
- ④ 感染症に関しては、尿路感染症等による発熱や体調不良、経口摂取していない方の誤嚥性肺炎等みられたが、インフルエンザに罹患する利用者はおらず、職員及び職員の家族内で感染症の発生あるも施設内に持ち込まれることなく利用者への感染もなく予防できたが12月上旬、施設内で利用者間の風邪が流行する。感染症対策を講じるも感染拡大してしまった。拡大した要因について見直し、マニュアルを作成していく。今後、感染症が発生しても最小限にとどめるよう努力し、感染症を施設に持ち込まないことと感染拡大の予防を徹底していく。
- ⑤ 職員の健康管理について、健康診断の受診を促し、要再検査項目については助言し体調管理に努めた。体調不良による休養等はあったが当事者の状況把握に努め、適切な助言ができるよう努めた。今後も継続していきたい。

機能回復訓練「理学療法」

実施状況

① 機能回復訓練

隔月で理学療法士、福島真人氏が来園し、診察・指導・助言のもとに、月曜日から金曜日（午前・午後）までは専従の上田法訓練士と補助員、土曜日と日曜日は福祉課職員の協力を得ながら、主に上田法の施行。個別支援計画に沿いながら体調等に留意し実施。参加人数は施設入所者1名、ショートステイ利用者8名。上田法施行により過緊張を和らげ、関節可動域の拡大、腹部膨満の緩和、各関節拘縮予防効果が見られた。

・福島理学療法士：延べ16名

② 補装具・自助具

各補装具の故障や破損、日常生活機能の変化等による補装具の購入・修理申請等の代行。また、自助具に関する相談、助言の実施。主な補装具は車椅子33名、下肢装具3名の利用者が日常生活で使用している。車椅子・短下肢装具の購入・修理申請等の代行。

- (1) 購入申請 車椅子 1件
- (2) 修理交付申請 車椅子 5件
- (3) 定期的座圧測定の施行、車椅子ブレーキ、張調整、パンク等の修理施行

③ 福祉機器及び介護用品

安心、安全な移乗を目的とし、福祉機器（床走行リフト）のメンテナンス等を定期的実施。必要時、業者へ依頼し不備がないよう管理した。

機能回復訓練「言語聴覚療法」

実施状況

- ① 日々の口腔内観察を行い、異常の早期発見に努めた
- ② 歯科医師、歯科衛生士の指示指導の下、必要物品の発注や手順書の作成を行った。また、勉強会を行い、介護部への周知を図った。
- ③ 多職種と情報共有し、食事形態の見直しや変更、水分へのとろみの調整を行った。
- ④ 発語の促しや手指を使った訓練を積極的に取り入れ今出来ている機能の維持、また食前体操への参加により話す、食べる機能の維持を図った。

給食（内湯療護園）

実施状況

① バイキング食

利用者の嗜好や要望を取り入れたメニュー。年間行事やイベントに合ったメニューで季節を感じられるよう工夫し、バイキング食を楽しんで頂いている。

「実施日」： 隔週木曜日の昼食

「実施回数」： 令和7年度 22回

② 定食の日

バイキングのマンネリ化を解消するため、外食風メニューで楽しんで頂いている。

「実施日」： 隔週木曜日の昼食

「実施回数」： 令和7年度 27回

③ 選択食

2種類のメニューから好きな料理を選んで頂き、利用者を選ぶ楽しみを作り出せるように組み込んでいる。(主食・主菜のみ選択)

「実施日」： 隔週火曜日の夕食

「実施回数」： 令和7年度 23回

④ 丼の日

選択食のマンネリ化を解消するため、利用者から要望の多い丼メニューのバリエーションを増やして提供している。

「実施日」： 隔週火曜日の夕食

「実施回数」： 令和7年度 30回

⑤ 麺類の提供

暑さで食欲が落ちてしまいがちな時期には、麺類を1日増やして夏バテ、スタミナ不足にならないよう食事面からサポートしている。

「実施日」： 毎週月曜日の昼食

⑥ BBQ

外の空気を味わいながら、季節の味覚を、楽しんでいただけるよう工夫している。

「実施日」： 6月・10月

「実施回数」 令和7年度 2回

⑦ 熱中症対策

熱中症予防に効果的な果物で、美味しく水分補給、夏の健康管理に努めている。

「実施日」： 6月～10月頃

⑧ 特別食・治療食

利用者の摂食状況、健康状態に合わせた食事の提供をしている。

「特別食」： ペースト食、ソフト食、刻み食、軟菜食

「治療食」： 糖尿病食、痛風食、高脂血症食、ダイエット食

塩分を控えた食事の提供。出汁のうま味を活かした調理で薄味を心がけて減塩に努めている。

⑨ 災害食

非常事態に備え、食材の備蓄、災害時を想定した「災害食体験日」を設け食事の提供を行い、利用者、職員共に災害に対する意識を高めるように取り組んでいる。

「実施日」： 不定期の昼食

「実施回数」： 令和7年度 1回

⑩ 衛生管理

日 常	・正しい手洗い、手指消毒の徹底 ・調理従事者の毎日の検温、健康、衛生チェック ・衛生手袋、マスクの着用による調理、盛り付け、検食の保存 ・冷蔵庫、冷凍庫での温度管理をした食品保存 ・給食施設内温度及び湿度管理をした給食業務 ・加熱調理時の食品の中心温度管理 ・食品ごとの、まな板、包丁、ボール、ザル等用具の分別 ・配膳車、調理台、配膳台、取っ手の除菌 ・調理器具の洗浄、漂白 ・シンク、排水溝、床の清掃
週 間	・検収室、勝手口等の清掃及び食器棚、食品庫の整理整頓 ・冷蔵庫、冷凍庫、換気扇、洗浄機の清掃
月 間	・検便（10月～5月ノロウイルス検査含む） ・ねずみ、虫害の駆除
年 間	・サッシ、網戸の清掃及び大掃除

⑪ 行事食

月日	行事	主な料理
4/26	お花見会 (施設前庭開催)	お花見弁当 ちりめん彩りご飯、梅ご飯、紅鮭、鶏の唐揚げ、ホタテフライ、だし巻玉子、菜の花辛子 和え、筍土佐煮、苺、キウイ、豚汁、ジュース
6/17	BBQ(中庭)	焼肉、焼きそば、焼きイカ、おにぎり、ピザ、みつ豆フルーツ、ジュース
7/7	七夕定食	冷やしそうめん、いなり寿司、さつまいもの天ぷら、ケーキ
7/31	土用の丑の日	鰻ちらし、揚げ豆腐、茄子の漬物、お吸い物、コーヒーゼリー
7/31	おやつの日	アイス2種類(バニラ・チョコ)
8/13	お盆(夕食)	ちらし寿司、揚げ豆腐、スイカ、しじみ汁、ジュース、お酒
8/14		焼き鳥丼、ホタテとエビのマリネ、メロン、お吸い物、ジュース、お酒
8/15		天丼、はやとめかぶの三升漬け、パイナップル、お吸い物、ジュース、お酒
9/13	納涼祭 (手作り弁当)	たこ焼き、焼き鳥、チーズフランク、焼きそば、おにぎり、大学芋、しじみ汁、 果物(ぶどう・梨)、ジュース
9/23	秋彼岸	おはぎ・やわらか団子
10/6	十五夜	さつまいも、南瓜、林檎、梨、ぶどう、日本酒
10/21	BBQ(中庭)	焼さんま、焼肉、焼きそば、おにぎり、チーズフランク、焼かぼちゃ、梨、柿
11/3	寿司の日定食	にぎり寿司(5貫)、ミニえび天うどん、きんぴらごぼう、りんごゼリー
11/18	焼き芋会	焼き芋(紅はるか・安納芋・シルクスweet)
12/25	クリスマス会	ちらし寿司、骨なしフライドチキン、エビフライ、エビのマリネ、ローストビーフ、ピザ、 ポテトカップグラタン、ジュース
12/30	餅つき会	団子・やわらか団子
12/31	大晦日	昼食：年越しそば(海老天ぷら)、カニ風味卵焼き、オレンジゼリー 夕食：握り寿司(海老、鮪、鯖、蒸し海老、サーモン) おせち(伊達巻き、黒豆、昆布巻き、栗きんとん、蒲鉾、いくら) 茄子の甘辛揚げ、なまこ、お吸い物
1/1	お正月	鰻蒲焼き、だし巻玉子、人参の子和え、栗きんとん、粥の汁、ジュース、お酒
1/2		天丼、菊の塩辛、茶碗蒸し、お吸い物、ジュース、酒
1/3		ちらし寿司、揚げ出し豆腐、南瓜の甘煮、しじみ汁、ジュース、お酒
1/8	鏡開き	お汁粉
2/2	節分定食	かき揚げ蕎麦、いなり寿司、甘酢生姜、豆乳プリン
3/2	ひな祭り	ちらし寿司、舞茸と鶏天そば、ケーキ
3/11	災害食体験日	中華丼、筍の土佐煮、フルーツカクテル、オニオンスープ
3/18	春彼岸	団子2種類・やわらか団子

宮繕（内湯療護園）

実施状況

種類	作業内容	件数
修 繕	施設内外の不具合修繕：建具、てすり、サッシ、調理器具、コールボタン、電気、トイレ、水回り、エアコン、換気扇、発電機、車両ほか	53 件ほか
整 備	施設内外整備：草刈り、花壇整備、剪定、流し台設置、トイレ便座交換、ブラインド取付け、外壁洗浄、サッシ洗浄、排煙窓、換気部材洗浄ほか	108 件ほか
活 動	教養娯楽活動：模型展示	1 件
	防災啓発活動：防災バック展示	1 件
	防災啓発活動：防災講習会講師（集落支援事業）	1 件
	地域貢献活動：行燈ねぶた製作（薄市・下高根まつり）	1 件
	地域貢献活動：薄市・下高根まつり実行委員会	
	地域貢献活動：歩道、バス停、ストックヤード草刈り。側溝泥上げ。	

行事・外出・レクリエーション

月	日	行事・外出・レク	利用者	家族	職員
4 月	8 日	利用者懇談会	16 名		20 名
	15 日	パチンコ	6 名		1 名
	16 日	施設周辺散歩	6 名		3 名
	26 日	お花見会	31 名	30 名	27 名
	26 日	ドライブ外出（金木芦野公園）	14 名		14 名
5 月	2 日	ボウリング	6 名		3 名
	5 日	魚釣りゲーム	5 名		5 名
	6 日	ぬりえ	8 名		5 名
	7 日	書道	9 名		1 名
		利用者懇談会	19 名		20 名
		ドライブ外出（小泊方面）	2 名		2 名
	8 日	パチンコ	6 名		1 名
	13 日	ぬりえ	4 名		1 名
	16 日	ボウリング	5 名		3 名
	19 日	買い物外出（金木スーパーストア）	2 名		2 名
	20 日	ぬりえ	5 名		4 名
		お花を生けよう会	31 名		12 名
	21 日	トランプ	5 名		3 名
	22 日	パチンコ	5 名		1 名
	27 日	花札	4 名		3 名
	29 日	パチンコ	6 名		1 名
		買い物外出（イオンモールつがる柏）	2 名		2 名
	30 日	ボウリング	7 名		4 名
6 月	3 日	買い物外出（金木スーパーストア）	2 名		2 名
	4 日	トランプ	5 名		3 名
	5 日	パチンコ	5 名		3 名
		買い物外出（金木スーパーストア）	2 名		2 名
	10 日	ぬりえ	4 名		3 名
		利用者懇談会	18 名		20 名
	12 日	パチンコ	4 名		1 名
	13 日	ボウリング	5 名		3 名
	24 日	ぬりえ	4 名		1 名
	24 日	買い物外出（エルム）	2 名		2 名
	24 日	買い物外出（イオンモールつがる柏）	2 名		2 名

	25 日	トランプ	5 名		3 名
7 月	8 日	利用者懇談会	21 名		14 名
	10 日	花札	4 名		2 名
	17 日	第二うちがた「ホスピタルライブ」	2 名		2 名
	23 日	パチンコ	6 名		1 名
	23 日	書道	11 名		2 名
	23 日	ドッブ大会	29 名		6 名
	31 日	パチンコ	6 名		1 名
8 月	5 日	利用者懇談会	15 名		17 名
	7 日	パチンコ	6 名		1 名
	14 日	買い物外出（金木スーパーストア）	2 名		2 名
	19 日	買い物外出（金木スーパーストア）	2 名		2 名
	20 日	ぬりえ	5 名		2 名
	21 日	花札	7 名		2 名
	26 日	ドライブ外出（市浦方面）	2 名		2 名
	28 日	パチンコ	7 名		1 名
	31 日	障害者スポーツ大会	2 名		4 名
9 月	1 日	トランプ	4 名		2 名
	7 日	利用者懇談会	13 名		21 名
	13 日	納涼祭	33 名	24 名	35 名
	23 日	買い物外出（金木スーパーストア）	1 名		1 名
	29 日	魚釣りゲーム	5 名		3 名
10 月	2 日	パチンコ	6 名		3 名
	16 日	動物ふれあい交流会	26 名		8 名
	18 日	動物ふれあい交流会	26 名		8 名
	21 日	パチンコ	6 名		1 名
	28 日	書道	10 名		2 名
11 月	11 日	利用者懇談会	18 名		20 名
	13 日	パチンコ	6 名		1 名
	18 日	焼き芋会	28 名		12 名
	27 日	ホットケーキ作り	29 名		3 名
12 月	5 日	利用者懇談会	10 名		13 名
	23 日	手工芸	2 名		3 名
	25 日	クリスマス会	36 名	13 名	35 名
	27 日	手工芸	2 名		3 名
	30 日	もちつき会	31 名		10 名
1 月	6 日	利用者懇談会	14 日		19 日
	15 日	書道	13 名		3 名
		パチンコ	6 名		1 名
	19 日	手工芸	1 名		1 名
	20 日	手工芸	2 名		3 名
		出張販売	25 名		8 名
	23 日	ボウリング	4 名		3 名
	26 日	手工芸	1 名		1 名
	28 日	手工芸	2 名		3 名
2 月	2 日	手工芸	2 名		2 名
	3 日	節分・豆まき会	24 名		13 名
	6 日	手工芸	2 名		2 名

	10 日	パチンコ	6 名		1 名
	17 日	利用者懇談会	17 名		17 名
	18 日	トランプ	4 名		2 名
3 月	2 日	手工芸	30 名		12 名
	3 日	ひな祭り・うちがた喫茶	22 名		7 名
	4 日	カラオケ	7 名		2 名
	6 日	手工芸	2 名		2 名
	7 日	カラオケ	5 名		1 名
	11 日	手工芸	3 名		3 名
	12 日	利用者懇談会	16 名		17 名
	16 日	手工芸	1 名		1 名
	17 日	書道	12 名		1 名
		パチンコ	6 名		1 名
	21 日	カラオケ	8 名		2 名
	23 日	手工芸	3 名		3 名

第二うちがた 福祉課 生活支援

1 実施状況

- ① 感染症対策を継続しながらではあったが、アンケートを実施し、個別外出や居室での面会、家族参加ができる行事の実施環境を整え、個別ニーズにあった支援を提供した。ショートステイ等の空き部屋を活用するなど工夫し、地域で暮らす重度障がいを持つ利用者や医療的ケアを必要とする利用者が、安心して在宅で過ごせるよう生活介護（通所）での受け入れし、サービス提供を継続した。
- ② インフルエンザやコロナウイルスによる流行性の感染症クラスターが、冬期間に2回発生した。都度、利用者の皆さんには感染症対策に協力して頂き、利用者やご家族には、心労を与える結果となった。日頃からの基本的な感染症対策の徹底し、「持ち込まない」「広げない」を教訓に感染症対策を継続している。また、加齢による機能低下や疾病の重症化による入院が見られている。病変への早期対応や空床が続かないように、地域ニーズ把握し、相談支援事業所との連携と共に、情報収集・情報提供に努めた。
- ③ 年2回以上「身体拘束」および「虐待防止」に関する勉強会を開催、また、職員のスキルアップを図るため、積極的に派遣研修へ参加した。オンラインでの研修や外部講師を依頼した施設内の勉強会などを実施した。

2 利用状況

① 施設入所支援・生活介護の利用、入院、外泊の延べ日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	前年比
入所支援	877	908	896	931	961	930	938	925	923	931	830	952	11,002	916	▲134
入院日数	34	22	26	3	0	0	23	5	38	20	10	8	128	10.7	▲108
外泊日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
稼働率	97.4	97.6	99.5	100.1	103.3	103.3	100.8	102.8	100.0	100.0	98.8	102.3		101.7	
生活介護	598	620	603	631	654	619	628	648	624	639	570	620	7,454	621.1	▲253
(在宅)	114	120	117	114	97	105	112	64	110	100	67	93	1,213	101	▲172
稼働率	107.8	107.2	109	107.9	108.8	114.9	103.7	107.8	108.5	106.9	100.7	103.1		97.8	

※定員 30 名

※(在宅)：在宅からの生活介護利用者

② 年 齢

年齢 性別	18～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～79	80～	合計	平均
男	4	2	3	2	5	5	2	0	23	56.4
女	1	0	0	2	2	1	1	1	8	65.3
合計	5	2	3	4	7	6	3	1	31	58.7

③ 身体障害者手帳障害等級

年齢 性別	1 級	2 級	3 級	合計
男性	20	1	1	22
女性	8	0	0	8
合計	28	1	1	30

④ 知的障害者手帳障害等級

年齢 性別	A	B	精神障害者 保健福祉手帳	合計
男性	3	2	1	6
女性	2	0	2	4
合計	5	2	3	10

⑤ 市町村別利用者数

	青森市	弘前市	五所川原市	つがる市	鶴田町	深浦町	板柳町	鱒ヶ沢町	外ヶ浜町	秋田県 野里町	合 計
男性	1	1	6	6	1	1	2	4	1	0	23
女性	1	0	3	1	1	0	0	1	0	1	8
合計	2	1	9	7	2	1	2	5	1	1	31

⑥退所区分状況

理由 年度	在 宅		他施設等に転所		長期入院		死 亡		合 計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
R5 年度	0	0	0	1	1	0	0	1	3
R6 年度	0	0	0	0	0	0	1	0	1
R7 年度	0	0	1	0	0	0	1	1	3
合計	0	0	1	1	1	0	2	2	7

⑦在所期間の状況

期間 性別	1 年未満	1 年以上 3 年未満	3 年以上 5 年未満	5 年以上 10 年未満	10 年以上 15 年未満	15 年以上	合 計
男性	1	4	3	4	3	8	23
女性	1	0	0	3	1	3	8
合計	2	4	3	7	4	11	31

⑧障害支援区分

区分 性別	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	合 計
男性	0	0	0	1	3	19	23
女性	0	0	0	0	1	7	8
合計	0	0	0	1	4	26	31

平均障害支援区分 5.8

ショートステイ

1 実施状況

障害者総合支援法による障害者・障害児の短期入所事業を 8 床の定員で行ってきた。本年度は 14 名（うち新規利用者 2 名）の方を受け入れ、延べ 1,598 人の利用があった。前年比 386 人減である。

- ① 施設等への入所希望をした長期利用が 2 名、在宅で他のサービス（生活介護・就労継続支援）と組み合わせ利用されている方が 9 名（うち入所待機 4 名）いた
- ② 長期・安定的な利用者的大半が、日中活動として施設の生活介護やひだまり工房、他事業所へ通い余暇を過ごし、その人らしい生活を送っている
- ③ 入所待機していた長期利用のうち 1 名が施設入所となっている
- ④ 11 月にインフルエンザ、2 月に新型コロナウイルス感染症が施設内で蔓延したため、短期間でのショートステイのサービスを休みとした
- ⑤ 予防対策を講じながら、利用者・家族の理解、協力のもと安心・安全なサービス提供を行った

2 利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障害者	157	127	140	136	141	133	157	117	127	130	102	131	1,598
障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	157	127	140	136	141	133	157	117	127	130	102	131	1,598
平均	5.2	4	4.6	4.3	4.5	4.4	5	3.9	4	4.1	3.6	4.2	4.3
稼働率	65.4	51.2	58.3	54.8	56.8	55.4	63.3	48.7	51.2	52.4	45.5	52.8	54.6
うち生活介護等利用者	36	26	26	24	27	23	39	11	12	13	4	14	255

日中一時支援

1 実施状況

障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業「日中一時支援」におけるサービスを提供している（五所川原市・つがる市）が、令和7年度は利用がなかった。

医 務

1 実施状況

- ① 年2回の基本健診、利用者全員の結核検診
- ② 感染予防対策の実施・指導・研修
- ③ 喀痰吸引の実地研修
- ④ 職員の健康管理についてアドバイス、指導
- ⑤ 利用者・職員のコロナワクチン、インフルエンザワクチンの接種

2 評価

- ① 慢性疾患の長期入院治療2名、感染症からの肺炎で入院3名。延べ日数は、前年度より、90日間増となった
- ② 喀痰吸引の資格については、看護師不足により期限内の実地研修は困難と判断し、今年度はすすめる事ができなかった。状況を見ながら、また資格取得に向けて取り組んでいきたいと思います
- ③ 感染症に関して、最初は1～2人程度で抑える事ができていたが、無症状の職員の持ち込み、ガウンテクニックの不十分が考えられクラスターにつながってしまった。
マニュアル通りの対応、嘱託医との連携をすぐ実施したが、やはり職員人数が少ない夜勤帯で業務が増える中で感染が広まる様子があった。重症化リスクの高い利用者が多いため、できるだけ回避できるよう指導方法の見直しをし、今後も早期の気づきと予防行動の徹底を継続していけるよう取り組んでいく。

機能回復訓練「理学療法士」

① 機能回復訓練

一人ひとりの障がいや要望、体調に応じて気軽に参加できる訓練を心がけ、日常生活動作訓練、運動療法を継続的に行っている。隅月で理学療法士福島真人先生による指導。助言をもとに、上田法を主体として自動運動や他動運動、可動域訓練、起立装置を用いた起立訓練、ポジショニングなど各部署の協力を得ながら実施。訓練参加者は28名（入所23名、ショートステイ1名、通所4名）で過緊張や痙縮の緩和や維持効果が見られ、関節可動域の減少予防効果にも効果がありました。

② 補装具・自助具

補装具の故障や破損、身体機能の変化により補装具の交付申請・修理申請を代行し、補装具に関する相談や助言を実施。主要な補装具は車椅子（電動式を含む）で、現在30名の利用者が日常生活で使用している。主に新規車椅子の製作、座布、シートの交換、修理等である。

- (1) 交付申請（再交付含む） 車椅子 1件
- (2) 修理申請 車椅子 12件 体幹装具 1件
- (3) その他 申請以外にも小さな修理や利用者に合った自助具の購入等支援・助言も行い、また、通所の生活介護利用者の車椅子修理等について、業者との連絡調整も行っている。

③ 福祉機器及び介助用具

- (1) 安心・安全な介護と業務の省力化を目的とし、利用者が快適な生活を送ることができるよう介護用品の選定や工夫を行った。
- (2) 福祉機器の定期点検・修理（ベッド、床走行リフト、コールボタン等）を随時行った。

機能回復訓練「言語聴覚療法」

- ① 口腔内の観察を行い歯科医師、歯科衛生士、医務や介護部との情報を共有した
- ② 歯科医師、歯科衛生士の指示指導の下、必要物品の発注や手順書の作成を行った
- ③ 口腔ケア委員会と協力し、口腔ケアを行う環境を整え衛生状態の保持に努めた
- ④ 多職種と情報共有し、食事形態の見直しや変更、水分へのとろみの調整を行った。また、とろみ剤を管理し、利用者の食事がスムーズに行えるよう発注を行った
- ⑤ 今できている機能維持を目標に利用者一人ひとりに合わせた訓練を検討し実施した

給食（第二うちがた）

実施状況

利用者の声に耳を傾け、食事が楽しみになるような手作りで愛情のこもった食事作りを心がけた。

① 軟菜食の実績

介護・医務・給食の連携により、一人ひとりの栄養状態・身体状態・本人の食欲などを検討し、軟菜食を提供することができた。

② 療養食の実施

健康状態に合った食事提供が、健康管理に係ることができた。

□ 療養食の種類と人数（入所支援）

種類	糖尿食	脂質異常食	その他	合 計
人数	4 名	0 名	1 名	5 名

③ バイキング食

利用者の様々な嗜好を給食部全員で把握し、全体メニューにできないどんな小さな要望であっても、その結果をできるだけ早く献立に取り入れるように対応した。旬の食材も取り入れるようにした。

「実施日」： 毎週木曜日の昼食

「実施回数」： 令和 7 年度 36 回

④ 選択食

2 種類の献立の写真を見てもらい、その中から好きな料理を口頭や指さしなどで選択していただいている。利用者との関わりを持ちながら、選ぶ楽しみを感じ、嗜好も知ることができる。（主食・主菜のみ）

「実施日」： 毎週火曜日の昼食

「実施回数」： 令和 7 年度 48 回

⑤ 麺 類

利用者からの「麺類をもっと食べたい」という要望に応え、対応している。

「実施日」： 毎週水曜日の昼食

「実施回数」： 令和 7 年度 48 回

⑥ ひだまり工房の食事（昼食）

職員を通して、利用者の要望と嗜好の把握に努めている。さらにより良い食事の提供を心掛けている。

■ 実施日：月曜日～土曜日 ■ 料理：一汁三菜 ■ 麺類：毎週水曜日

■ 特別食・治療食：利用者の摂取状況に合った食事提供（お粥食・代替食・治療食）

■ 行事食：旬の食材を提供

お花見会：おにぎり、豚汁、玉子焼き、ウインナー、エビフライ、鮭塩焼き、ホタテ照り焼き

アスパラベーコン、菜の花からし和え、果物、桜餅、漬け物

お盆：天ぷら、きのごマリネ、角煮、フルーツポンチ

寿司の日：握り寿司、味噌汁、茶碗蒸し、ヨーグルト

クリスマス：のっけ丼、コンソメスープ、ローストビーフサラダ、なすとトマトのグラタン、ケーキ

節分：ちらし寿司（えび）、白菜わさび和え、味噌汁、練り切り

ひな祭り：ちらし寿司（かに、まぐろ）菜の花のからし和え、はまぐりのお吸い物、桃の杏仁豆腐

⑦ 行事食

□ 令和 7 年度の行事食

月日	行事	主な料理
4/23	お花見会	お弁当・豚汁
7/3	七夕	おにぎり・牛カルピ・ホタテ貝焼き・エビ塩焼き・焼きそば・やきとり フランクフルト・メロン・すいか・ジュース
8/13～15	お盆	鰻蒲焼・かぼちゃうま煮・ところてん・味噌汁
		天ぷら・きのごマリネ・フルーツポンチ・味噌汁
		サーモン、エビフライ・角煮・りんごゼリー・味噌汁
9/14	夏祭り	おにぎり・牛カルピ・えびの塩焼き・ホタテ貝焼き・焼きそば フランクフルト・ジュース
10/30	寿司の日	お寿司・茶碗蒸し・味噌汁・ヨーグルト
12/21	クリスマス会	寿司・牛ステーキ・ローストビーフサラダ・から揚げ・ポテト・ピザ・ナポリ タン・ローストチキン・コンソメスープ・いちご・ジュース
12/31	お寿司の日	寿司・人参の子和え・黒豆・白子味噌汁

1/1	正月	鉄火丼・茶碗蒸し・昆布巻き・味噌汁
1/2		天ぷら・伊達巻・焼き豚・けの汁
1/3		鰻蒲焼・煮しめ・なます・味噌汁
1/29	新年の祝い	すきやき
2/3	節分	エビちらし寿司・白菜わさび和え・練り切り・味噌汁
3/2	ひな祭り	カニまぐろちらし寿司・はまぐりお吸い物・菜の花からし和え・ももの杏仁豆腐

⑧ 衛生管理

日 常	・衛生手袋、盛りつけ、検食の保存 ・冷凍庫、冷蔵庫の温度管理 ・給食施設内温度、湿度管理 ・加熱調理時の食品の中心温度管理 ・調理従事者の毎日の健康、衛生チェック ・食品ごとの、まな板、包丁、ボール等の用具の分別 ・洗浄・漂白 ・調理台、配膳台、シンク、床の掃除 ・取っ手の除菌
週 間	・調理機器、側溝、検収室、勝手口等の掃除 ・食器棚、食品庫の整頓
月 間	・冷凍庫、冷蔵庫の清掃 ・検便
年 間	・大掃除（2回） ・サッシ、網戸の掃除 ・ねずみ、害虫の駆除

しあわせセンターうるしかわ

福祉総合相談センター

実施状況

社会福祉法人内湯療護園の理念のもと、人と人との関わりを大切にしながら、地域に身近な「福祉よろず相談所」として総合相談支援を実施した。また、地域と福祉をつなぐ役割を果たせるよう、電話、来所、訪問による相談の体制を整えながら、地域住民への周知を目的としてホームページを活用し、総合相談に関する情報発信を行ったが新規の相談には至らなかった。

相談支援事業（指定特定相談支援事業・指定一般相談支援事業・指定障害児相談支援事業）

1 実施状況

① 指定一般相談支援事業

地域生活支援事業における障害者相談支援事業を五所川原市、つがる市、中泊町より事業を受託し、実施した。利用者や家族に対して福祉制度の説明や地域資源の紹介、関係機関との連絡調整などを行い、必要な支援につながるよう対応した。令和7年度も地域移行支援および地域定着支援の新規利用には至らなかったものの、関係機関との情報共有や保健所の会議への参加を通し、西北五圏域における地域移行の体制づくりに協力した。

② 指定特定相談支援事業、指定障害児相談支援事業

西北五管内の2市4町（五所川原市、つがる市、中泊町、鶴田町、鰺ヶ沢町、深浦町）のほか、管外市町の利用者に対し、今年度は相談支援専門員が増員となり、主任相談支援専門員を中心に4名体制（2名は兼務）でサービス等利用計画の新規作成や変更、定期的なモニタリングを実施した。計画作成にあたっては、本人および家族の思いを大切にしながら、関係機関と連携し、継続した支援につながるようつとめた。また、行政や福祉サービス事業所の他、保育、教育機関とも連携し、本人を中心とした支援となるようつとめた。令和7年度は、226名（うち障害児は23名。年度内の終了件数を含む）の支援を行った。

③ その他

今年度はつがる市、五所川原市のほか、新たに弘前市からも障害支援区分認定調査を受託し、実施した。また所属しているつがる西北五広域連合地域自立支援協議会相談支援部会や研修会へ参加し、対応力の向上につとめるとともに、今年度も圏域内の市町および主任相談支援専門員と連携し、相談支援従事者現任研修のインターバル実習の対応を行い、地域の相談体制の質の向上に協力した。その他、医療的ケア児等コーディネーターとして保健所や小児在宅支援センター等と連携し、災害時個別支援計画に沿った避難訓練の実施や生活困窮者自立支援窓口とも連携し、関係機関との協働による支援体制の構築につとめた。BCP（事業継続計画）については、12月に発生した地震の際、計画に基づきながら対応を行った。

2 利用状況

① 相談方法（サービス等計画作成に伴う相談を含む）

	訪 問	来 所	電話（メール含）	その他	合 計
五 所 川 原 市	332	19	274	21	646
つ が る 市	223	7	116	11	357
中 泊 町	117	5	90	5	217
鶴 田 町	54	0	32	7	93
鰺 ケ 沢 町	44	0	16	0	60
深 浦 町	15	0	7	0	22
そ の 他	52	1	16	3	72
件 数	837	32	551	47	1,467

② 相談者区分別（サービス等計画作成に伴う相談を含む）

	本人	家族	関係機関	その他	合計
五所川原市	348	144	139	15	646
つがる市	227	57	72	1	357
中泊町	148	28	28	13	217
鶴田町	50	19	20	4	93
鯺ヶ沢町	39	1	20	0	60
深浦町	14	0	8	0	22
その他	45	6	18	3	72
件数	871	255	305	36	1,467

③ 相談内容別（サービス等計画作成に伴う相談を含む）

	障害福祉サービスの利用について	障害や病状の理解について	健康・医療について	その他	合計
五所川原市	590	7	10	39	646
つがる市	331	1	17	8	357
中泊町	191	6	6	14	217
鶴田町	83	0	0	10	93
鯺ヶ沢町	56	1	0	3	60
深浦町	22	0	0	0	22
その他	64	3	3	2	72
件数	1,337	18	36	76	1,467

④ サービス等計画作成件数（新規契約済件数）

	五所川原市	つがる市	鶴田町	中泊町	その他	合計
障がい者	8	1	1	3	3	16
障がい児	2	1	0	0	0	3

⑤ 障害者支援区分認定調査実施状況

		視覚障害	内部障害	脳性麻痺	脳血管疾患	頭部外傷	頸髄損傷	筋ジストロフィー	知的障害	精神障害	その他	合計	
つがる市	男	0	1	1	2	2	2	1	0	0	4	13	22
	女	2	1	1	2	0	0	0	1	0	2	9	
五所川原市	男	2	1	2	1	2	2	0	3	3	4	20	28
	女	0	1	3	1	0	0	0	1	1	1	8	
弘前市	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	女	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2	

地域交流室『うるしかわ「みんなのひろば」』

1 実施状況

地域の中で気軽に利用できる「みんなのひろば」として運営している。令和5年度に新型コロナウイルスが「5 類感染症」へ移行となっているが、感染予防対策は継続していたため、外部への貸し出しは行っていない。周知活動についても、法人ホームページへの掲載のみとなっている。

2 利用状況

令和7年度も法人内の会議や研修に対する貸し出しのみとなっており、外部への貸し出しは実施していないため、実績はない。

ケアホームうるしかわ

1 実施状況

- ① 日常生活全般において自己決定を尊重しながら、利用者が主に日中利用しているひだまり工房と連携し、安心・安全・快適に日々の生活を送れるよう支援しました。
- ② バックアップ施設の第二うちがたの医務の協力を得て、利用者様の健康管理や感染予防に努めました。ご家族様の協力を得ながら、疾病時や定期受診等の通院の支援を実施することができました、しかし、障がい重度化・高齢化により、疾病や急遽の受診の対応が増えてきている状況です。また、骨折によるアクシデントがあり、青森県に報告をしてケアの見直しを行いました。
- ③ 1名が退去し、新しい利用者様が入居しました。
- ④ 洗濯・掃除等、日常生活における家事については、利用者個々の状態に合わせ支援の見直しを行いました。
- ⑤ 利用者が安心・安全に生活できるよう、補装具の修理申請、役所への書類の代行なども実施しました。
- ⑥ 電動車いす使用の利用者は単独での外出をされていました。ホームでも職員の付き添いで外出を行いました。感染症流行時（冬季間）は外出を控えていただいていたため、イベントの食事に変化をつけるなどの工夫をして楽しんでいただきました。
- ⑦ 職員のスキルアップを図るための研修参加（令和7年度は13項目の研修に参加しました）や、感染症予防のための勉強会を実施しました。

2 利用状況

① 年 齢

年齢 性別	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70以上	合 計	平 均
男性	0	0	0	2	2	2	6	65.3
女性	0	0	0	1	3	0	4	61.7
合計	0	0	0	3	5	2	10	63.9

② 障害支援区分

区分 性別	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	平均
男性	0	1	1	3	1	4.6
女性	0	0	0	2	2	5.5
合計	0	1	1	5	3	5.0

③ 利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
利用人数	300	289	297	310	310	300	280	261	310	310	280	310	3,557	▲14
稼働率%	100	93.2	99.0	100	100	100	90.3	87.0	100	100	100	100	97.5	▲2.5

ひだまり工房

1 実施状況

- ① 夏場は、かき氷の代わりに昔ながらのアイスクリームを3色用意。好きな色を選び、楽しんでいただいた。また、季節に合わせた行事でのおやつ提供や、利用者の目の前でスイーツを作り、匂いも楽しむ場を作った。
- ② 外出については、5月から11月に実施。買い物、食事、友人に会いに行くなど希望に応じて実施。利用者の方々のリフレッシュに繋げることができた。
- ③ 創作活動を積極的に行い、青森県立美術館「ありのままの表現展」に出品。個人・共同制作の作品を披露する機会を設けることで、次回の作品作りの意欲に繋がっている。
- ④ 第二うちがた主催のまつりへの参加や、バイキング形式の食事の提供。出前の日の開催で普段とは違う雰囲気味わっていただいた。
- ⑤ 職員のスキルアップを図るため、各研修会（オンライン研修含む）へ参加。

2 利用状況

① 障害支援区分

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	訓練	合計
男性	0	1	3	1	3	5	0	13
女性	0	0	0	1	3	3	0	7
合計	0	1	3	2	6	8	0	20

② 年齢別状況

	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上	合計
男性	0	0	2	2	4	1	4	13
女性	0	0	0	0	1	4	2	7
合計	0	0	2	2	5	5	6	20

③ 利用状況

	延べ利用者数			稼働日数	1日平均利用者数
	生活介護	自立訓練	合計		
4月	332	0	332	26日	12.7
5月	265	0	265	27日	9.8
6月	313	0	313	25日	12.5
7月	332	0	332	27日	12.2
8月	312	0	312	25日	12.4
9月	321	0	321	26日	12.3
10月	314	0	314	27日	11.6
11月	264	0	264	26日	10.1
12月	326	0	326	26日	12.5
1月	283	0	283	24日	11.7
2月	249	0	249	24日	10.3
3月	304	0	304	26日	11.6
合計	3,615	0	3,615	309日	
月間平均	301	0	301	25日	12.0

行事・外出・レクリエーション

① 第二うちがた

月	日	行事・外出・レク	利用者	家族	職員
4月	1日	喫茶「もどき」	16名		1名
	1日	懇談会	21名		8名
	3日	麻雀クラブ	4名		1名
	5日	書道クラブ	7名		1名
	8日	買い物外出	2名		2名
	10日	麻雀クラブ	4名		1名
	12日	コンビニ外出	2名		2名
	15日	ドライブ外出	2名		2名
	17日	出前の日	18名		1名
		買い物外出	1名		1名
	19日	ドライブ外出	2名		2名
	22日	買い物外出	1名		1名
	23日	お花見会	20名	14名	25名
	24日	麻雀クラブ	4名		1名
	27日	紙芝居読み聞かせ	13名		1名
	30日	買い物外出	3名		3名
5月	1日	麻雀クラブ	4名		1名
	3日	書道クラブ	9名		1名
		買い物外出	1名		1名
	6日	ドライブ外出	2名		2名
	8日	麻雀クラブ	4名		1名
	10日	ゲーム大会	4名		1名
		コンビニ外出	1名		1名
		園芸クラブ外出	2名		2名
	13日	ドライブ外出	1名		1名
	16日	買い物外出	2名		2名
	17日	カラオケクラブ	5名		1名
	18日	買い物外出	2名		2名
	20日	ドライブ外出	2名		2名
	23日	コンビニ外出	4名		2名
	24日	紙芝居読み聞かせ	7名		5名
6月	27日	ドライブ外出	2名		2名
	28日	喫茶「もどき」	16名		1名
	30日	軽作業	3名		1名
	3日	喫茶「もどき」	16名		1名
		ドライブ外出	2名		2名
		懇談会	20名		10名
	5日	麻雀クラブ	4名		1名
		コンビニ外出	1名		1名
	7日	書道クラブ	7名		1名
	10日	買い物外出	2名		2名
		園芸クラブ	5名		5名
	12日	食事外出	1名		1名
		麻雀クラブ	4名		1名
	14日	コンビニ外出	1名		1名
	13日	軽作業活動	3名		1名
6月	13日	ドライブ外出	2名		2名
	14日	ドライブ外出	1名		1名
		カラオケクラブ	6名		1名
	21日	紙芝居読み聞かせ	9名		2名
	28日	ゲームセンター外出	1名		1名
	29日	個別外出	1名	1名	

7月	1日	避難訓練	19名		6名	
	3日	利用者の会主催「BBQ 大会」	26名		10名	
		麻雀クラブ	4名		1名	
	5日	書道クラブ	10名		1名	
		個別外出	1名	2名		
	8日	買い物外出	2名		2名	
		喫茶「もどき」	15名		1名	
	10日	麻雀クラブ	4名		1名	
	12日	ゲーム大会	8名		1名	
	15日	救急救命講習（五所川原市消防署）			7名	
		買い物外出	1名		1名	
	17日	松尾孝臣ライブ	25名		20名	
		救急救命講習（五所川原市消防署）			7名	
	24日	食事外出	1名		1名	
26日	紙芝居読み聞かせ	18名				
29日	ドライブ外出	1名		1名		
31日	買い物外出	1名		1名		
8月	3日	書道クラブ	5名		1名	
	5日	立佞武多見学	4名		1名	
	7日	麻雀クラブ	4名		1名	
	11日	懇談会	17名		10名	
		喫茶「もどき」	17名		1名	
	16日	カラオケクラブ	4名		1名	
	21日	麻雀クラブ	4名		1名	
		買い物外出	1名		1名	
	23日	紙芝居読み聞かせ	7名		1名	
	28日	出前の日	20名			
30日	カラオケクラブ	7名		1名		
	コンビニ外出	1名		1名		
9月	3日	喫茶「もどき」	20名		1名	
	4日	麻雀クラブ	4名		1名	
	6日	書道クラブ	10名		1名	
	11日	麻雀クラブ	4名		1名	
		軽作業クラブ	6名		1名	
	20日	麻雀クラブ	4名		1名	
		ドライブ外出	1名		1名	
	27日	秋まつり	第二うちがた 34名 在宅 5名 ケアホーム 10名 ひだまり工房 3名	家族 60名 来賓 25名 催し物参加者 40名	43名	
	10月	4日	ハロウィーン撮影会	23名		1名
			買い物外出	1名		
6日		麻雀クラブ	4名		1名	
		買い物外出	1名		1名	
8日		書道クラブ	6名		4名	
		買い物外出	2名		2名	
11日		カラオケクラブ	6名		1名	
13日		麻雀クラブ	4名		1名	
		買い物外出	2名		2名	
15日		コンビニ外出	1名		1名	
22日	ゲーム大会	7名		1名		
25日	喫茶「もどき」	16名		2名		

	27日	買い物外出	2名		2名
		麻雀クラブ	4名		1名
	29日	紙芝居読み聞かせ	11名		1名
11月	1日	避難訓練	4名		1名
	9日	書道クラブ	7名		1名
	12日	利用者の会主催「焼き芋食べようの日」	12名		2名
	14日	麻雀クラブ	4名		1名
	16日	カラオケクラブ	4名		1名
	21日	麻雀クラブ	4名		1名
		お楽しみ食事「出前の日」	15名		
	23日	紙芝居読み聞かせ	9名		1名
	23日	コンビニ外出	2名		1名
	30日	軽作業「クリスマス会のゲームで使用する新聞紙のボール製作	6名		1名
12月	4日	麻雀クラブ	4名		1名
	6日	書道クラブ	7名		1名
	8日	懇談会	21名		12名
	9日	喫茶「もどき」	16名		1名
	13日	カラオケクラブ	8名		1名
	16日	ゲーム大会	6名		1名
	18日	麻雀クラブ	4名		1名
	21日	紙芝居読み聞かせ	10名		1名
	25日	クリスマス会	20名		21名
	27日	餅つき大会	20名		16名
1月	6日	カラオケクラブ	5名		1名
	8日	麻雀クラブ	4名		1名
	10日	書道クラブ	7名		1名
	11日	個別外出	1名	2名	
	13日	麻雀クラブ	4名		1名
	15日	カラオケクラブ	6名		1名
	17日	お楽しみ会「ホットケーキ焼きましょう」喫茶「もどき」			
2月	8日	麻雀クラブ	4名		1名
	10日	懇談会	20名		9名
	12日	麻雀クラブ	4名		1名
	14日	カラオケクラブ	7名		1名
	19日	お楽しみ食事「出前の日」	19名		
	21日	紙芝居読み聞かせ	11名		1名
	24日	お楽しみ「もどき」たい焼きもどうぞ	18名		
3月	3日	「お雛祭り」	10名		1名
	4日	喫茶「もどき」	12名		1名
	5日	麻雀クラブ	4名		1名
	7日	書道クラブ	9名		1名
	10日	ゲーム大会	6名		1名
	11日	BCP 訓練・「防災食をたべてみよう」	23名		12名
	13日	麻雀クラブ	4名		1名
	14日	カラオケクラブ	8名		1名
	19日	麻雀クラブ	4名		1名
	21日	紙芝居読み聞かせ	11名		1名
	26日	お楽しみ食事「出前の日」	18名		
	28日	軽作業活動	4名		1名
	31日	カラオケクラブ	5名		1名

※ 他に個別レクにて、漢字パズルや塗り絵、トランプやゲームを楽しんでいる。

※ 大ホールの大画面テレビにて、口腔ケア体操を毎日実施。その他、アニメ・YouTube にて歌謡曲を聞いている。

② ひだまり工房

月	日	行事・外出・レク	利用者	職員
4月	22日	花見外出	2名	2名
	23日	花見外出	1名	1名
5月	7日	買い物外出	2名	3名
	9日	買い物外出	1名	2名
	13日	買い物外出	1名	1名
	15日	買い物外出	2名	2名
6月	11日	お菓子作り	13名	8名
	18日	避難訓練	14名	9名
	24日	買い物外出	2名	2名
7月	3日	食事外出	2名	2名
	8日	買い物外出	1名	1名
	9日	外出（内湯療護園まで）	1名	1名
8月	11日	食事外出	2名	2名
	26日	買い物外出	2名	2名
9月	28日	屋台風バイキング	13名	13名
	2日	嶽きみを楽しむ会	13名	9名
	4日	買い物外出	1名	1名 実習生
	8日	買い物外出	2名	2名
	9日	買い物外出	1名	2名
	11日	買い物外出	1名	1名
	12日	食事外出	1名	1名
	16日	買い物外出	2名	2名
	17日	買い物外出	1名	1名
	18日	買い物外出	1名	1名
10月	19日	買い物外出	1名	1名
	27日	秋まつり参加	3名 (在宅利用者)	9名
	9日	買い物外出	1名	1名
	21日	買い物外出	1名	1名
	23日	避難訓練	10名	9名
	24日	食事外出	1名	1名
11月	28日	買い物外出	1名	1名
	31日	買い物外出	1名	1名
	5日	買い物外出	2名	2名
12月	6日	買い物外出	1名	1名
	25日	秋の味覚を楽しむ会	11名	8名
1月	18日	クリスマスパーティー	12名	10名
2月	29日	出前の日	12名	9名
	4日	節分（豆まき）	11名	8名
3月	18日	バレンタイン行事	9名	6名
	3日	ひな祭り行事	14名	9名

③ ケアホーム

月	行事名	内 容
4月	外出	花見ドライブ外出
	花寄せ植え	プランターへの花の寄せ植え
6月	避難訓練	火災を想定した避難訓練
7月	BBQ	日常と違う雰囲気での食事を楽しむ
10月	秋祭り	地域の方と交流を行う
	避難訓練	火災を想定した避難訓練
12月	クリスマス会	料理でクリスマスを楽しむ
1月	お正月	お正月料理を楽しみながらゆったりお正月を過ごす
2月	節分	季節を感じていただきながら、季節行事の食事を楽しむ

1 実施状況

令和7年度事業計画に基づき、支援を必要とする高齢者が安心して暮らすことができるよう、制度の枠にとらわれず、ニーズに応じた多面的な相談業務を実施した。

週1回のミーティングにより情報共有。さらには24時間の電話対応により休日や夜間の電話相談にも対応していたが、令和8年1月ケアマネ2名体制に変更となった

① 居宅介護支援・介護予防支援

一人ひとりのニーズに則した居宅介護サービス計画書を作成するとともに、サービス事業所や病院との連絡調整、担当者会議等を実施した。

② 要介護認定に係る訪問調査

中泊町や五所川原市、他市町村から要介護認定調査を受託して実施した。

③ 研修参加

介護支援専門員としての資質向上を目指し、事業所内外の研修や勉強会に参加した。また、外部研修に参加した場合は伝達研修を実施した。

④ 介護支援専門員実務研修受け入れ協力事業所への登録

介護支援専門員実務研修における「ケアマネジメントの基礎技術に関する実習」に関する実習受け入れ協力事業所として登録しており、今年度の依頼はなかった。

⑤ 感染予防対策

法人から出される感染症対策確認事項に沿ってサービス提供を実施した。勤務前の検温や手洗いうがいの徹底はもちろんのこと、訪問前後の手指消毒等も実施した。

⑥ その他

住宅改修に係る意見書の作成。

ホームページ等で情報発信することで、来所される家族・電話での相談、令和7年度も病院から直接事業所への相談もあった。その他、関係機関との連絡調整はもちろんのこと、緊急時の受診の付き添いや援助などもニーズに合わせて支援した。

2 事業実績

① 要介護度別利用者構成

	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男性	0	0	0	13	8	3	5	2	31
女性	3	0	2	28	13	5	6	0	57
合計	3	0	2	41	21	8	11	2	88

② 新規相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	6	3	5	3	4	2	2	3	2	0	3	4	37

③ 介護認定調査委託件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	5	3	4	11	2	7	8	1	5	4	3	4	57

内湯療護園デイサービスセンター

1 実施状況

- ① 住み慣れた地域で自立した生活を継続できるよう、入浴・食事・排泄、機能訓練、レクリエーション等のサービスを提供した。
- ② 機能訓練指導員による上田法を中心とした個別プログラムに沿った機能訓練を実施している。また、訓練室に滑車運動、ペダル漕ぎ運動、ハドマー（波形型エアマッサージ器）・訓練用階段を設置することにより、利用者が自主運動を積極的に取り組み、機能維持できるよう配慮している。
- ③ 食事を美味しく、楽しく、安全に食べていただくことができるように、昼食前の口腔体操を継続して実施している。また、給食部門とも連携し、選択食や行事食、イベント等を実施することで利用者に喜んでもらうことができた。
- ④ コロナ禍における感染対策徹底のもと、希望利用者を対象に花見や買い物外出を実施し、好評を得た。高齢化、独居世代の増加により、買い物外出のニーズが多いため継続していく。
- ⑤ 感染防止対策の実施として、送迎時の検温、マスクや擦式手指消毒剤を活用し、外部からの感染防止を図った。事業所内では換気や空気清浄機を設置し、でき得る対策を最大限実施し運営を継続した。

2 利用状況

① 介護保険被保険者

(延べ人数)

	介護保険被保険者									平均 要介護度	計	稼働日数
	事業	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他			
4月	67	57	95	213	176	82	25	2	11	1.4	728	26
5月	65	61	105	195	204	93	27	3	11	1.4	764	27
6月	63	53	107	183	208	69	25	0	12	1.4	720	25
7月	64	56	108	226	205	74	33	0	13	1.4	779	27
8月	62	40	102	215	198	70	33	9	10	1.5	739	25
9月	69	35	117	216	198	44	25	0	12	1.3	716	25
10月	68	48	131	235	199	36	26	0	13	1.2	756	27
11月	57	44	133	233	171	34	20	4	11	1.1	707	25
12月	64	25	127	242	177	32	20	2	13	1.2	702	26
1月	52	16	110	259	134	27	23	0	8	1.2	629	24
2月	51	21	107	254	124	27	22	0	10	1.2	616	24
3月	54	22	122	296	135	32	23	0	13	1.2	697	26
合計	736	489	1,364	2,767	1,949	620	302	20	137		8,553	307

② 障害者総合支援法による利用者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活介護	11	11	12	13	10	12	13	11	13	8	10	13	137
合計	11	11	12	13	10	12	13	11	13	8	10	13	137

③ 介護度・区分別登録者数

年齢	～64		65～69		70～74		75～79		80～84		85～89		90～94		95～		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
総合事業	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	1	8	0	6	0	0	2	17
要支援 1	0	0	1	0	0	0	0	2	2	1	0	4	0	4	0	0	3	11
要支援 2	0	0	0	0	0	0	1	1	1	2	1	2	1	7	0	1	4	13
要介護 1	0	0	0	0	0	0	2	2	0	8	2	9	3	3	0	0	7	22
要介護 2	0	0	0	1	2	0	3	0	2	0	4	3	3	2	1	1	15	7
要介護 3	0	0	1	0	1	0	2	0	2	0	0	2	0	2	1	1	7	5
要介護 4	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	1	3
要介護 5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	4	0	0	2	4
障がい	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
合計	1	0	2	1	3	0	9	6	9	14	9	28	7	29	2	4	124	

1 実施状況

- ① 季節ごとに感染症予防や健康・生活に関する注意喚起を行い、利用者の健康な生活維持に努めた。その他、生活に関わることは関係機関と連携・協力し、利用者一人ひとりの生活を豊かにすることができた。特に感染症予防について徹底し、マニュアルに沿って実施。訪問前後に手指消毒、訪問毎にマスクを交換する等の対応をしながら訪問を実施した。
- 福祉ホーム入居者でインフルエンザやコロナ陽性者が出て外部訪問が中止になったこともあったが、最小限におさまり、訪問を再開することもできていた。
- ② 福祉ホーム入居者は高齢化・重度化が進み、身体機能の低下や認知機能の低下がみられてきた。低下している原因を分析、ミーティングで話し合い、関係機関へ情報発信。利用者本人が自立した生活ができるようサービス事業所や関係機関と連携し、支援を実施した。
- ③ 在宅サービス利用者は個別性を重視。その人らしく生活ができるよう、関係機関へ情報を発信したり、相談・報告しながら支援を実施した。また、職員一人ひとりがスキルアップするための研修を計画。オンラインの研修会への参加や法人での企画した研修に参加したり、職員自らが講師となり、職場内研修を実施して啓発に努めた。
- ④ 職員が安全・安心して訪問が行えるよう、定期的にミーティングを開催し、業務内容を見直した。特に、うちがた工房とは密に連携を取り合い、月1回ミーティングを開催。業務内容の見直しや提案・改善をした。BCP発動の訓練やマニュアルの見直し、きりん館との合同の避難訓練にも参加し、災害時や感染症に備えた。また、身体拘束・虐待防止の取り組みに向けた委員会も地域福祉センターにて開催した。
- ⑤ 法人から出される新型コロナウイルス感染症対策に沿って業務を実施。手洗いうがいの徹底はもちろん、訪問時はマスク着用し、終了後には消毒を実施。その他、不安な場合には地域福祉センター医務へ随時、確認しながら業務を実施した。
- ⑥ ICTを導入。ペーパーレス化を実施。昨年に比べるとおおよそ4～5割の紙を削減できた。また、タブレットでの報告書を導入したことで文章が見やすくなった。
- ⑦ 職員の年次有給休暇は個人でのばらつきがあったが、全職員40%以上は取得。平均では51%取得できていた。令和8年度も50%の取得を目指す。

2 利用状況

① 指定訪問介護事業（介護保険）

（延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
派遣回数	41	15	9	9	10	8	13	11	10	10	10	11	157

② 訪問型独自サービス（介護保険）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
派遣回数	4	5	5	5	5	4	4	4	3	3	3	2	47

③ 指定居宅介護事業（障害者総合支援）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
派遣回数	601	619	612	640	688	628	483	424	450	519	466	483	6,613

④ 介護度・区分別登録者数

	障がい	事業	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男性	10	0	0	2	1	0	1	0	0	14
女性	1	0	0	1	1	0	0	0	0	3
合計	11	0	0	3	2	0	1	0	0	17

1 実施状況

- ① 感染予防対策をしっかりと行った上で、希望にそった食事・買物外出やイベントを行った。一人ひとりの希望にそった行事を行うことで、ストレス解消や心身のリフレッシュにつながる有意義な時間を提供することができた。
- ② 敷地内で野菜作りや花栽培を行い、草取りから収穫までを活動として進め、心身機能の活性化につなげることができた。また、継続してひまわり栽培・収穫を利用者と共に行った。
- ③ 創作活動として、季節に合わせた飾り作り、ひまわり種を使用した貼り絵を作成し、展示した。また、薄市小学校卒業生へなたね油とひまわりの種を使用してマグネット作成しプレゼントした。
- ④ コロナウィルス等の影響により、休業や短縮営業とした日があった。また、利用者数が減少しており、前年度より、1日平均利用者数 1.0 人（延べ-261 人）利用件数が減となった。
- ⑤ エコキャップ活動は、地域のボランティア活動に結びついている。地元のこども園や地域の人からの協力を得て、ペットボトルキャップ約 460 k g、約 197,800 個を収集することができた。ペットボトルキャップ 1 k g をゴミとして焼却しなければ、CO₂ を約 3 k g 削減できる。
（前年度約 180,600 個）
- ⑥ 事業継続計画(BCP)の定期的な見直しを行い、感染対策や災害時に対応できる体制を整えた。また、年 2 回以上の避難訓練を実施した。

2 利用状況

① 利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
生活介護	251	260	259	276	243	178	242	230	258	266	241	252	2,956	246.3
自立訓練	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
稼働日数	22	23	22	23	22	18	23	22	23	22	20	23	263	21.9
1日平均	11.4	11.3	11.7	12	11	9.8	10.5	10.4	11.2	12	12	10.9	11.2	

② 障害支援区分

	区分なし	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	合計
男性	0	0	2	6	4	2	1	15
女性	0	0	0	2	2	0	0	4
合計	0	0	2	8	6	2	1	19

③ 利用者別状況

	20 歳未満	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～64 歳	65 歳	合計
男性	0	0	1	1	5	3	5	15
女性	0	1	0	0	1	1	1	4
合計	0	1	1	1	6	4	6	19

令和 8 年 3 月現在

地域密着型特別養護老人ホーム きりん館

特別養護老人ホーム きりん館

1 実施状況

① 地域との関わり

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行後、薄市小学校の運動会、学習発表会、入学式・卒業式来賓等、交流が再開され利用者、職員が参加している。

また地域福祉センター「秋祭り」を開催し多くの家族、友人が参加している。

② 感染予防対策

通年通して新型コロナウイルス感染予防対応に力を注いだ。ご利用者、ご家族の協力により面会、行事等の制限を最小限で実施することができた。

③ 余暇活動

新型コロナウイルス感染予防対策を取りながら、毎月のお食事会、カラオケ大会、昔懐かしき遊び、園芸活動など充実した活動を行うことができた。

2 利用状況

① 介護老人福祉施設入所者生活介護（定員 29 名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
延べ利用日数	819	855	856	899	889	818	821	852	863	802	743	863	10,080	84.0
入院日数	29	45	0	0	2	16	20	0	37	58	30	20	257	21
外泊日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
稼働率 (%)	94.1	95.1	98.4	100	98.9	94.0	91.3	97.9	96.0	89.2	91.5	96.0		95.2

② 年齢

年齢 性別	65～69	70～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	合計	平均
男性	0	1	2	2	2	1	0	8	87.1
女性	0	1	6	3	5	6	0	21	89.1
合計	0	2	8	5	7	7	0	29	88.1

※入退所があったため 30 名となっています

③ 要介護度

	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
男性	0	0	1	5	2	8
女性	0	0	10	9	2	21
合計	0	0	11	14	4	29

④ 退所区分

	死亡	入院	その他	合計
令和 6 年度	7	3	1	11
令和 7 年度	13	5	0	18

きりん館 短期入所

1 実施状況

介護保険法による特別養護老人ホーム併設型ユニット型短期入所事業を行い、専用居室 6 室を整備している。中泊町、五所川原市、つがる市在住の方々が、延べ 167 人、1,385 日の利用があった。

2 利用状況

① 短期入所生活介護、予防短期入所生活介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
延べ利用日数	113	153	75	138	133	141	120	116	69	72	107	148	1,385	115.4
延べ利用者数	13	19	11	15	17	18	20	13	8	7	11	15	167	13.9
稼働率 (%)	62.8	82.3	41.7	74.2	71.5	78.3	64.5	64.4	37.1	38.7	63.7	79.6		63.2

※ 介護保険の場合、要介護認定の期間が6ヵ月から最長36ヵ月まで認められており、利用期間中に要介護度が変更となり、要介護度を2つ以上持っている方がいる。

きりん館 医務

1 実施状況

- ① 感染予防対策の実施・指導
- ② 結核検診の実施
- ③ 職員の健康管理についてのアドバイス・指導
- ④ 看取り介護の実施

2 評価

- ① 日々の健康管理や適切な受診を実施することにより、持病の悪化とADLの低下による体調不良や入院する利用者が増えた
- ② 感染症対策として勉強会・会議等の開催、「持ち込まない」ための指導や管理を行った
- ③ 看取り介護への移行者は現在7名、今後も家族・医師・介護・給食と連携しながら穏やかな終末期を過ごせるよう支援する

障がい者福祉ホーム きりん館

1 実施状況

今年度は、新規入居者1名、退去者2名のうち1名の方は障がい者施設の短期入所利用となった。

ホームヘルプサービスやうちがた工房の生活介護サービスを利用して、利用者一人ひとりの自己決定による生活を保障し、地域で自立した生活を送れるよう支援した。

2. 利用状況

年齢 性別	30～39	40～49	50～59	60～69	70以上	合計	平均
男性	0	0	3	6	1	10	63.8
女性	0	0	0	1	0	1	67.0
合計	0	0	3	7	1	11	64.1

3. 障害支援区分

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男性	0	2	3	3	1	0	9
女性	0	0	1	0	0	0	1
合計	0	2	4	3	1	0	10

行事・外出・レクリエーション

① 特別養護老人ホーム きりん館

月	日	行事・外出・レク	利用者	職員
4月	22日	お花見	20名	11名
5月	21日	バイキング食	25名	10名
	24日	薄市小学校運動会	2名	2名
	28日	おやつバイキング	25名	10名
6月	9日	避難訓練	20名	11名
	18日	バイキング食	25名	10名
7月	7日	七夕行事食	25名	10名
	15日	バイキング食	25名	10名
8月	11日	百寿の祝い	1名	5名
	13日	お盆行事食	25名	10名
	27日	おやつバイキング	25名	10名
9月	6日	薄市・下高根まつり	2名	2名
	20日	「うちがた秋祭り」	32名	15名
10月	9日	避難訓練	20名	11名
	15日	バイキング食	25名	10名
	25日	薄市小学校学習発表会	2名	2名
11月	3日	なかどまり町民文化祭	2名	2名
	11日	薄市こども園お遊戯会	4名	2名
	17日	秋の遠足外出	9名	7名
	19日	バイキング食	25名	10名
	29日	秋のお茶会	9名	4名
12月	9日	カラオケ忘年会	18名	10名
	20日	クリスマス会	25名	15名
1月	9日	新年会	20名	17名
	27日	薄市こども園	20名	10名
2月	18日	バイキング食	25名	10名
	10日	バザー	9名	10名
3月	22日	お花見	20名	11名
	21日	バイキング食	25名	10名

② 地域福祉センター デイサービス

月	日	行事・外出・レク	利用者	職員
4月	15日	花見外出	5名	2名
	16日	花見外出	8名	3名
	14日	花見外出	6名	2名
	18日	花見外出	8名	3名
7月	30日	屋台イベント	29名	7名
8月	5日	買い物外出 金木スーパーストア	4名	2名
	6日	買い物外出 金木スーパーストア	7名	2名
	7日	買い物外出 金木スーパーストア	5名	2名
	8日	買い物外出 金木スーパーストア	6名	3名
	16日	屋台イベント	27名	7名
	30日	ボランティアの集い	0名	9名
11月	16日	買い物外出 金木スーパーストア	4名	2名
12月	17日	買い物外出 金木スーパーストア	6名	2名
	18日	買い物外出 金木スーパーストア	3名	2名
	19日	買い物外出 金木スーパーストア	4名	2名
	7日	新年会	27名	7名
1月	8日	新年会	30名	7名
	9日	新年会	28名	7名
	15日	花見外出	5名	2名

③ 地域福祉センター うちがた工房

月	日	行事・外出・レク	利用者	職員	園内外
4月	21日	花見外出(芦野公園)	11名	6名	園外
	25日		11名	6名	園外
5月	31日	ドライブ食事外出(小泊方面)	12名	5名	園外
6月	14日	ドライブ食事外出(鰯ヶ沢方面)	12名	5名	園外
7月	22日	デイサービスと合同イベント(炊き出し)	15名	7名	園内
	23日		15名	7名	園内
8月	2日	パフェ作り	11名	6名	園内
9月	20日	地域福祉センター秋祭り	14名	7名	園内
11月	22日	ひまわり収穫お疲れ様会	10名	7名	園内
12月	6日	買い物外出(スーパーストア ノア)	10名	6名	園外
1月	17日	新年会	11名	7名	園内
3月	13日	薄市小学校卒業生と交流	2名	2名	園外
	21日	たこ焼きパーティー	9名	5名	園内

中泊町地域包括支援センター

中泊町地域包括支援センターは、高齢者などが住みなれた地域で安心してその人らしい生活ができるよう「医療・介護・介護予防・住まい・生活支援」が一体的に提供される地域包括ケアシステムを推進し支援を行った。中里地域の総合福祉健康センター湯らばーくを拠点として、相談の他、湯らばーく内で「ゆらかフェ（認知症カフェ）」、いきいき百歳体操のサポート、館内事業所合同でのイベントを開催した。また、飛び地である小泊地域住民が相談しやすいように、小泊地域は中泊町地域包括支援センターこどもり支所を拠点としている。

当法人は中泊町から委託を受け、主任介護支援専門員・社会福祉士・看護師・介護支援専門員・認知症地域支援推進員・介護福祉士（資格の重複あり）等 7 名のスタッフを派遣し、総合的な相談体制を整えている。

1 実施状況

① 包括的支援事業

（総合相談支援業務、権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務、介護予防ケアマネジメント業務）

65 歳以上のすべての高齢者を対象として、保健・医療・介護・福祉、生活の総合的な相談に応じ適切な機関や制度の利用に繋げる支援を実施し、65 歳以下に関しても随時対応している。

高齢者虐待の事例について、今年度は件数 0 件。虐待につながる前の相談が多く、虐待を未然に防ぐことができた。成年後見制度の相談が多く、権利擁護センターや行政等と協力して終結まで支援した件数が 3 件あった。

地域のネットワーク構築として、中泊町介護支援専門員連絡会の事務局としてサポートした。高齢者世帯調査を 117 件実施、不在宅にはチラシを配布した。調査やチラシから 10 件前後相談があった。

② 介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）

65 歳以上の全ての高齢者に、年齢や心身の状況などに関わらず、要介護状態となっても生きがいや役割をもって生活ができる地域づくりを目指し必要な支援を行った。

・一般介護予防事業

住民運営の通いの場「いきいき百歳体操」の立上げ支援・継続支援体操などを行う住民主体の通いの場の立上げは今年度なし。現在活動している 15 ヶ所の継続支援を行った。

③ 地域ケア会議の推進

地域の支援者を含めた多職種による専門的視点を交え、個別事例の分析を通じてその解決とともに地域に共通した課題を明確にし、必要な支援策や基盤整備につなげた。

全 11 回開催（個別会議 7 回、推進会議 3 回、運営会議 1 回）

④ 指定介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント

介護予防が必要な人（要支援 1・2・事業対象者）に対して、適切な介護予防計画を作成した。ケアプラン作成件数が令和 6 年度より 328 件増加している

（町内にリハビリ特化型デイサービスが開設し増加傾向）

⑤ 認知症施策の推進

認知症になってもできる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるために、認知症の人やその家族に早期に関わり、早期診断や早期発見に向けた支援を行う認知症初期集中支援チームを設置しているが対応件数はなかった。

しかし、認知症と思われるケースは 54 件対応し、総合相談として対応している。認知症地域支援推進員配置（4 名）し、主に地域ケア会議や総合相談、講師、認知症カフェの運営やサポートなどの活動をおこなっている。認知症サポーター養成講座を 3 回開催し 142 名（児童 85 名）のサポーターを養成した。認知症高齢者などへの声かけ訓練を、「地域貢献活動の夏休み学習会」「認知症カフェ（なごみ）（ゆら）」にて中泊社協と合同で実施。夏休み学習会では小学生 157 名、高校生ボランティア 17 名、認知症カフェでは 70 名程の参加があった。

中泊町健康 MY フェスタを福祉課・町民課と合同で 9 月に開催した。

『ゆらかフェ』（認知症カフェ）を毎月開催し延べ 176 名の参加あり。また、小泊町会連「なごみカフェ」（毎月第 3 水曜日）の継続的サポートを実施し平均 20 名～40 名の参加者がいる。

薄市自治会・婦人部「笑（わら）カフェ」立ち上げ支援と継続的サポートを実施し 20～30 名の参加者

がいる。各認知症カフェでチームオレンジ（認知症の方など、地域で生活しやすいようチームで支援を行う）立ち上げの支援をし、『ゆらカフェ』は「すてっぷ」10名、『なごみカフェ』は「ほっとリング」2名、『笑（わら）カフェ』は「笑（わら）」9名が登録し活動している。

⑥ 在宅医療・介護連携推進事業

医療と介護を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、在宅医療と介護サービスを一体的に提供される体制の構築を目的としている。小泊地域の小泊連絡協議会（小泊診療所、薬局、小泊地域事業所等）に毎月参加している。

（２）事業実績

① 相談

■ 相談件数（延べ）

単位：件

来所	162
電話	937
訪問	590
その他	139
合 計	1,529

■ 相談者の区分（延べ） 単位：件

本人	473
家族	480
知人	9
関係機関	348
その他	15
中泊町役場	182
親類	25
合 計	1,533

■ 相談内容（延べ）

単位：件

介護・日常に関する相談	201
サービス利用に関する相談	477
介護保険に関する相談	397
医療に関する相談	120
所得・家庭生活に関する相談	38
権利擁護に関する相談	26
高齢者虐待に関する相談	5
障害サービスに関する相談	4
苦情相談	1
その他	174
合計	1,983

② 包括的・継続的ケアマネジメント支援

■ 中泊町介護支援専門員連絡会

第1回	行政連絡・令和7年度事業計画について
第2回	・行政連絡 ・「災害時の保健活動～保健師から伝えたいこと～」 講師 青森県西北保健所健康増進課 主査 江良育子氏
第3回	・処方薬お届けについて ひなた薬局 薬剤師 木皮美賀氏 ・地域ケア個別会議報告 ・事例検討会：「本人の身体状況に必要と思われる支援と、家族の必要とする支援が異なるケース」
第4回	・地域ケア（個別、運営）会議報告 ・ケアマネ間での情報交換～色々あるねケアマネの仕事～ ・認知症関連について

■ 会議などへの参加

地域関係者主催の会議	12
地域密着型運営推進会議	26
民生・児童委員定例研修会	19
合 計	57

③ 地域ケア会議の充実

■ 中泊町地域ケア会議の位置づけ

会議の名称	会議の機能				
	個別課題 解決機能	ネットワーク 構築機能	地域課題 発見機能	地域づくり 資源開発機能	政策提言機能
1 地域ケア個別会議	○	○			
2 地域ケア推進会議		○	○	○	
3 地域ケア運営会議		○	○	○	○

■ 地域ケア個別会議（個別ケースの課題解決）※1回2事例検討した(50分×2ケース)

第1回	『ケアする人をケアする地域ケア会議』 講師 公立大学法人宮城大学 看護学部 老年看護学 教授 大沼由香氏
第2回	『わたらしい（あなたらしい）人生をむかえるには～どせばいい？カードからACP(人生会議)を考える～』講師 特別養護老人ホーム三思園 阿部一樹氏（他職員4名） ファシリテーター（町内主任ケアマネ2名）
第3回	『エンディングノートについて』 講師 一般社団法人就活協議会 認定講師 就活ガイド資格1級 エンディングノートセミナー講師 福士千恵子氏

■ 地域ケア推進会議（関係者で地域課題の共有・解決方法の検討、研修会の開催）

第1回	事例検討会『認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができるような地域づくり』 参加者 26名
第2回	『いつまでも元気に暮らせる地域づくりのために』～中泊町SOS徘徊ネットワーク事業の概要について～ 講師 中泊町地域包括支援センター 三上月江氏 参加者 10名
第3回	『高齢者虐待防止対応と権利擁護』 講師 青森県社会福祉士会 権利擁護委員会 宮古道子氏 参加者 30名
第4回	『みえにくい課題に気づき支え合える地域へ～ヤングケアラーを知る～』 講師 青森県立五所川原高等学校 スクールソーシャルワーカー チームなないろ代表 川村沙織氏 参加者 13名

■ 地域ケア運営会議（町の課題と町への提案を整理・決定する）

	審議事項	決定事項
第1回	①「住民にエンディングノートの普及啓発をする」 ②「身寄りのいない方（単身、高齢世帯、親族の遠方含む等）の意思決定を支援していく」	①エンディングノートを通して、住民に「意思表示が出来なくなった時に、大切な人が困らないための準備をする」という普及啓発をする。 ②身元保証について、公的な制度や社会資源の仕組みを作る。

④ 指定介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント

要支援者・事業対象者に対して予防支援を行った。

■ プラン数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護予防支援	49	49	49	50	50	48	48	48	46	45	45	44	571
ケアマネジメントA	163	172	169	172	169	159	168	172	173	171	164	157	2,009
委託	2	3	3	4	4	5	5	6	5	0	0	0	37
合計	212	221	218	222	217	207	216	224	219	216	209	201	2,617

ケアマネジメントA：指定介護予防支援と同様のケアマネジメント

ケアマネジメントB：簡略化したプロセスでのケアマネジメント

※あやめの会は令和6年3月で廃止となっているため表示していない

⑤ その他

- ・講師依頼 5 回（小泊地域 1 回、中里地域 2 回、大間町介護支援専門員研修、県包括支援センター研修会）あり派遣した。
- ・要介護認定調査を 45 件実施。
- ・中泊町民祭に参加し、脳チェック、Switch、くじ引きコーナーのブースを設置し、若い世代に向けても包括支援センターの周知に努めた。
- ・中泊 MY 健康づくりフェスタを福祉課、町民課と開催。出張認知症カフェと switch のブースを設置した。
- ・ケアプラン点検を 2 回実施。主任介護支援専門員が福祉課と実施した。
- ・switch を活用した集いの場を毎月第 2 火曜日実施。
- ・中泊町総合福祉健康センター湯らばーくで、管内事業所と共同で 2 周年記念イベントを実施した。